



# 学校だより



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>

8・9月号

学校教育目標 ㊦ いさつから輪を広げる子 ㊧ ふうして学び続ける子 ㊨ たしもあなたも命を大切にする子

## みんなで未来を担う横浜の子どもを育てる

こうちょう すずき まさのり  
校長 鈴木 正憲

夏休みが終わり、学校に子どもたちの声が戻ってきました。暑い日がまだまだ続くようです。学校でも熱中症にならないように体調管理をしっかりとしていきます。

さて、夏休み中の体験や心に残った思い出は、これからの生活の中で様々なところで生かされていく源になることと思います。4・5・6年生を対象に実施した「夏季あくわルーム」には、全体の約8割の子どもたちが参加しました。算数科の一人ひとりの課題に合わせて、寄り添いながらじっくりと学習を進めていくので、とても満足した様子がみられました。

各学校の代表が一堂に会し、話し合いを深める「横浜子ども会議」が7月20日(木)、いずみ野中学校で開かれ、6年の江口 琴乃さん、横山 咲希さん、松村 真莉奈さん、原 菜摘さん、矢作 愛穂さんが出席しました。テーマである「もう一度、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会をつくろう」について考えをまとめながら、しっかりと自分の意見を述べることができました。会議で話し合ったことを全校に広げてくれることと期待しています。

これまでの「大会」からネーミングを新たに「記録会」に変え、7月31日(月)、瀬谷区水泳記録会が原小学校で開催されました。原小、三ツ境小、二ツ橋小、阿久和小の4校から代表が集まり、本校からは16名が参加しました。なぜ記録会という名称に変えたのかというと、他者との競い合いというより、自分自身に挑戦してもらいたいという願いがあったからです。今年の水泳学習で初めて25mを泳げるようになった子や泳げる種目を増やした子どもたくさん参加しました。当日は、大きな声で応援し、記録会を盛り上げました。また、8月24日(木)の横浜市水泳大会に、瀬谷区代表として6年生の永井 慎太郎さんが50m自由形の種目に出場しました。

夏休み期間、地域に戻った子どもたちを温かく、やさしく見守ってくださり、南部まつりや納涼祭、PTAやキッズクラブ、ほかほかプラザのイベント、など楽しい企画をたくさん用意してくださいました。子どもたちは、イベントに参加する中で人との関わりを学び、故郷として地域を感じる事ができたと思います。よい思い出を積み重ねることで、子どもたちの心の中に、「地域を大切に思う気持ち」が育っていくのだと思います。学校だけではできないことも、家庭や地域、関係機関と力を合わせ、共に学校を創っていくことで、未来を担う横浜の子を育てることができるのだと思います。

これからも皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。